

対象理解とセルフケア看護の実践力を強化したいナースのための

精神科看護 Skill Up コース

■ プログラムの目的

Orem-Underwood のセルフケア看護理論を実践の枠組みとしている既に使用している、または導入を予定している精神科病院のナースが患者の状態の解釈やアセスメントの根拠が説明できるよう、主要な知識について再学習し、理解が曖昧な点を補強するための学習支援プログラムとして企画している。

また、枠中【看護実践の基準・看護実践の内容】1～3の遂行に該当する実践力を強化し、職場でセルフケア看護の実践者として「高度な看護実践を行い、さらにモデル的な看護実践の教示をすることができる」ことを目標にしている。

【1-2 看護実践の内容】 抜粋(日本看護協会による看護業務基準:2016年改訂版より)

1-2-1. 看護を必要とする人に身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から支援する。

- * 患者が回復する力が持てるよう、治療的な患者-看護師関係を展開させる。
- * 患者が自分で満たすことのできないセルフケアニーズに対し援助するとともに、必要なセルフケアが自分でできるよう支援する。
- * 病気の再発を防ぎ、よりよい健康状態を保持するために必要な知識や生活様式が獲得できるよう支援する。
- * 患者自身が社会復帰や社会参加に必要な資源を選択し、必要に応じて利用できるよう支援する。
- * 家族の不安やストレスを軽減すると共に、家族が力量に応じた患者援助ができるよう支援する。

1-2-2. 看護を必要とする人の意思決定を支援する。

1-2-3. 看護を必要とする人が変化によりよく適応できるように支援する。

■ プログラムの対象

現在、精神疾患をもつ患者の入院治療や地域生活支援に従事し、精神科ナースとして一人前の段階にある5年目以上を主な対象とする。

■ 展開方法と受講可能な人数 (詳細は別紙参照)

Step 1 『Skill up セミナー』での学習・再学習 (7月～9月) …16名程度 (使用会場の収容可能人数分)
※再学習ニーズに応じ、部分的受講が可能

Step 2 『精神科看護のOJTコース・実践報告』(コースワーク)… 4名程度(他施設からは2名前後)
* 学習した知識を用いた意図的实践(10月～2月)と実践の振り返りと報告 (2月～3月)

■ セミナー・コースワーク受講申し込みについて … 受付:平成29年5月23日(火)まで

- **一陽会病院の看護職員**…所属の看護課長とセミナー実施日の勤務調整が可能かを検討し、看護課長から受講申し込みを看護教育部長に提出する。希望者数が多い場合は、「受講の可否」を看護部部課長会議で調整する。

● 他施設からのセミナー受講

- ① 所属施設の看護管理者に受講希望を申し入れ、セミナー実施日の勤務調整が可能かを確認した上で、受講申込み用紙(別紙)に必要な事項を記入し、ファックスで送信する。(1枚につき1名分)
- ② 定員数と照合し、看護管理者宛に「受講の可否」をファックス(またはEメール)で返信する。

受講の可否についての返信 : 6月5日(月)～9日(木)

● 問い合わせ先 : 統括教育部長 大竹真裕美 E-mail: ohtake@ichiyo.jp 電話(代表):024(534)6715

【 精神科看護 Skill up コースの内容とスケジュール 】

Step 1 : skill up セミナー (7月～9月)

日本看護協会による『精神科領域の看護業務基準 (1999年5月第2版)』の看護実践の方法に示されている精神科看護領域に必要な主な知識の「心を理解するための知識」を中核に再学習の支援し、“専門知識に基づく判断を行う”ことを強化することを目的に企画したセミナーです。

計6回のセミナーは、途中で休憩をはさみながら「講義を聴く+考える(ワーク)」で展開していきます。

講義+ワークシート 13時00分～16時00分 →質問への対応(15分) / 定員 16名程度

期日	講義内容
7月8日(土)	対象理解① 精神状態の査定と自我の防衛機制
7月22日(土)	対象理解② 心理社会的発達と危機&ストレス・コーピング
8月5日(土)	対象理解③ セルフケアと自己評価・自己効力感
8月19日(土)	看護実践の枠組み①セルフケア看護モデルと治療的患者-看護師関係
9月2日(土)	看護実践の枠組み②家族看護の視点・家族エンパワメントモデル
9月16日(土)	Skill up セミナーのまとめ: セルフケアの力を強化し、リハビリを支援するために

Step 2 : 精神科看護のOJT コース・実践報告 (10月～3月)

「Skill up セミナー」で再学習した知識を実践場面で活用し、対象理解とセルフケア看護理論を基盤にした看護実践力を強化することを目標に企画したコースです。

OJT中の4ヶ月間は、看護過程の基本ステップを踏みながら看護援助を展開していくことを支援します。また、コースワーク開始時に、先行研究で開発されたケアガイドやケアプログラムを紹介し、該当ケースを担当している場合には、OJTで実践応用を試行することを支援します。

9月30日(土) 16:00～17:00	●実践のためのケアモデルの紹介・セミナーを踏まえたアセスメントについて
9月30日(土) 17:00～18:00	★身体症状の観察とアセスメント (希望時)
11月11日(土) 15:00～16:00	●フォローアップ 第1回 (進行状況の確認・対象把握に関するQ&A)
1月13日(土) 15:00～16:00	●フォローアップ 第2回 (進行状況の確認・実践報告にむけた準備)
3月14日(水) 17:30～	●実践報告 ※他施設からの受講者:所属施設で実践報告を行うことをお勧めします。

* 当院の看護職員: 定期病棟ラウンド等の機会を利用しながら、対象ケースへの看護展開を個別にフォローします。

送信日： 年 月 日

送信先	社会医療法人一陽会 一陽会病院 Fax: 024(531)0427
	統括教育部長 大竹 眞裕美 宛 Email : ohtake@ichiyo.jp / 電話 (代表) : 024 (534) 6715
送信元	(施設名)
	(職位) (氏名)
※返信先 (Fax または Email) : 電話 :	

社会医療法人一陽会 一陽会病院 看護教育部長／看護部 主催

【平成 29 年度 精神科看護 Skill Up コース】

受講申込み用紙

受講希望者	所属病棟	精神科経験
(男・女)		約 年
<p>● Skill Upセミナー : <input type="checkbox"/> 全 6 回を受講する</p>		
<p>* 部分受講の場合、受講する期日に☑を入れてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 7/8 「対象理解①:精神状態の査定と自我の防衛機制</p> <p><input type="checkbox"/> 7/22 「対象理解②:心理社会的発達と危機&ストレス・コーピング」</p> <p><input type="checkbox"/> 8/5 「対象理解③:セルフケアと自己評価・自己効力感」</p> <p><input type="checkbox"/> 8/19 「看護実践の枠組み①:セルフケア看護モデルと治療的患者-看護師関係」</p> <p><input type="checkbox"/> 9/2 「看護実践の枠組み②:家族看護の視点・家族エンパワメントモデル」</p> <p><input type="checkbox"/> 9/16 「skill up セミナーのまとめ:セルフケアの力を強化し、リカバリーを支援するために」</p>		
(通信欄)		